

センター新設のご挨拶

三叉神経痛・顔面痙攣総合センター センター長 しみず かつよし 清水 克悦



この度、三叉神経痛・顔面痙攣総合センターを開設させていただくことになりました。

コンセプトは、対象疾患に対して医系総合大学の強みを生かした、他の施設ではマネのできない満足のゆく総合的なケアの実現です。

三叉神経痛・顔面けいれんは片側顔面(口腔内)の激痛・片側顔面のけいれんをそれぞれ主症状とします。

お陰様で、私が赴任した2012年以降、昭和医科大学病院脳神経外科では、三叉神経痛・顔面痙攣に対して、仰臥位・脳ベラなしの鍵穴手術で日本有数の手術実績をもって治療にあたっていました。今後ともさらにブラッシュアップして精進してまいります。

長年の経験から、三叉神経痛・顔面痙攣の患者さんが、発症してから正しい診断を受けられ適切な治療に至るまで、いかに苦労されてこられたかということを、常々実感しております。

また診断がつきましても、典型的なケースは我々の手術で完治するのですが、手術適応の判断の難しい複雑な症例も、これまで多数経験してまいりました。

そこで今回のセンター化によって、脳神経外科を中心に、歯科口腔外科(口腔ケア)、脳神経内科、耳鼻科、眼科、麻酔科(ペイン/ボトックス)、放射線科といった関連各科と密に連携をとらせていただくことによって、対象疾患に対し、手術治療を軸としながら多様な症例に対応すべくワンストップでの総合的な診断と治療の実現を目指します。

どうぞお気軽に、当センターにご相談ください。

<診療体制>

センター長：清水 克悦（脳神経外科教授/日本脳神経減圧術学会運営委員）

脳神経外科：松本 政輝（講師）、新井 晋太郎（講師）

歯科：マイヤース 三恵（田代）（医科歯科連携診療歯科准教授）口腔ケア含

麻酔科（ペイン・ボトックス）：小林 玲音（講師）

生理機能室：渡辺 涼加、奈良 英里香 術中モニター（ABR,AMR）等

耳鼻咽喉科：平野 康次郎（耳鼻咽喉科頭頸部外科准教授）疾患鑑別診断，術前術後聴力検査等

眼科：栗岡 隆弘（助教）疾患鑑別診断・術後検査等

脳神経内科：笠井 英世（講師）頭痛外来担当

放射線科：村上 幸三（准教授 脳神経外科准教授兼任）画像診断等

脳機能解析：佐藤 洋輔（脳機能解析・デジタル医学研究所所長 脳神経外科教授兼任）痛みの”みえる化”研究等

<患者さん、ならびに医療機関の先生方へ>

顔の痛み、食事、歯磨き時の口腔内の痛み。「どうかな」と思ったら遠慮なくご依頼ください。

外来：月曜、木曜の午前/午後にご予約ください。

（お問い合わせ/ご予約）医療連携室 03-3784-8400

歯科病院とも連携しております。

当センターの受診をご希望で歯科病院を初診された方は、まず医科歯科連携歯科での診察を受けていただき、口腔内に問題がなければ脳神経外科を受診いただく流れになります。

<診療実績>

→昭和医科大学病院脳神経外科「三叉神経痛・顔面痙攣」サイトをご覧ください。

<https://www.showa-u.ac.jp/SUH/departments/list/neurosug/case05.html>



今月は「1 年目 医事入院課 事務職員 ^{わだ} ^{りな} 和田 莉奈さん」をご紹介します。

なぜ昭和医科大学の事務職員を目指しましたか??

高度な医療を提供する大学病院で、多様な業務を通じて専門性を高められる環境に魅力を感じたからです。

また、他職種が連携する医療現場で、チーム医療の一員として患者さんのために働いていきたいと考え、志望しました。

現在、どのような業務をしていますか??

入院請求係として、主に入院患者さんの会計業務と保険請求業務を担当しています。まだまだ勉強不足で先輩方にはご迷惑をかけてばかりですが、業務を通して知識や経験を積めるよう努めてまいります。



今後、どのような事務職員を目指しますか??



患者さんが安心して過ごせる環境づくりに貢献できるような事務職員を目指しています。
窓口や電話対応は勿論、会計業務や保険請求業務では、正確性を重視して取り組むことで、患者さんからの信頼・安心感を持っていただけるよう日々職務を遂行していきたいと思ひます。



トピック

クリスマス飾りつけお知らせ

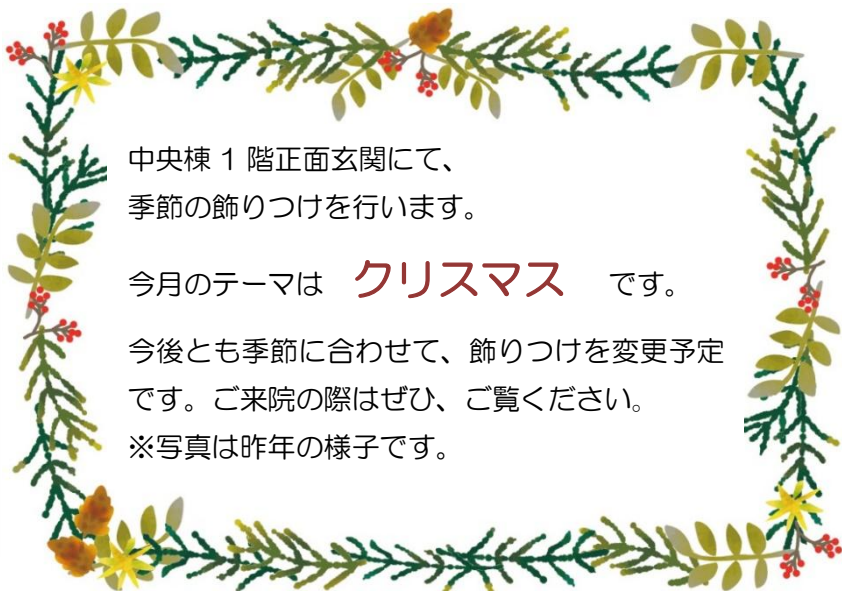


中央棟 1 階正面玄関にて、
季節の飾りつけを行います。

今月のテーマは **クリスマス** です。

今後とも季節に合わせて、飾りつけを変更予定です。ご来院の際はぜひ、ご覧ください。

※写真は昨年の様子です。



2025年11月22日（土）、シェラトン都ホテル東京にて第42回昭和医科大学クリニカルセミナーを開催いたしました。280名の地域医療機関の方々にご参加いただき、院内からも144名（医師・看護師・MSW含む）が参加いたしました。

講演会では新任診療科長・センター長の紹介と2名の医師による講演を行いました。講演会終了後にはご来場いただいた地域医療機関の方々への日頃のお礼と当院医師との親睦・交流を図る目的で「懇親会」を行い、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、おかげさまで盛会のうちに終わることが出来ました。

改めて、地域医療機関の方々のご期待に添えるよう職員一同努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

文責：医療連携室



※講演会の様子



※懇親会の様子

■講演会

<病院紹介>

1)『昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院の施策と概要』 昭和医科大学病院 病院長 相良 博典

<新任診療科長・センター長の紹介>

- ・呼吸器外科
- ・脳神経外科
- ・三叉神経痛・顔面痙攣総合センター

診療科長 教授 小林 正嗣

診療科長 教授 諸藤 陽一

センター長 教授 清水 克悦

<講演>

1)『大腸がんでは死なせない！！—大腸がん検診そして大腸内視鏡—』 内視鏡センター 准教授 若村 邦彦

2)『昭和医科大学脳神経外科でできること』

脳神経外科 教授 諸藤 陽一



『相良 博典病院長』



『若村 邦彦先生』



『諸藤 陽一先生』



11月21日（金）、昭和医科大学病院中央棟正面玄関において、イルミネーション点灯式が行われました。

上條学長、小出総括病院担当理事、村上病院担当理事、相良病院長の他、小児科病棟の患者さんも参加しました。全員でスイッチを押すと、一斉にイルミネーションが点灯し、中央棟正面玄関と入院棟1階公開空地の遊歩道が、様々な光で彩られました。

また、点灯にご協力いただいた小児科病棟の患者さんには、相良病院長より、一足早いクリスマスプレゼントが送られました。

ご来院の際には、イルミネーションをぜひお楽しみください。

☆点灯時間☆ 17:00～21:00

☆点灯時間☆ 令和7年11月21日（金）～令和8年2月28日（土）



トピック

ボイラー祭が行われました

寒さが時々刻々と厳しさを増していくこれからの季節に向けて、昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院では建物内の空調設備を冷房から暖房運転に切り替えます。その暖房運転の要となるのが高温の蒸気を発生させるボイラー設備です。そのため、冬場の主力熱源として日々稼働し続けるボイラー設備に携わる職員の健康と安全を祈願して毎年、この時期には“ボイラー祭”を執り行っております。ボイラーの本格的な稼働にあたって、機器の安全運転と職員の健康を祈願する神事を今年度も執り行いました。



トピック

ボランティアスタッフと鉢植えの交換会を行いました

当院の園芸ボランティアスタッフと病院職員で、発熱外来前に置いてある鉢植えを新たに交換いたしました。

お立ち寄りの際には是非御覧ください。



トピック

サクス！グッドプラクティスパートナー(第64回)

当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

臨床検査技師から看護部へのありがとう！

津藤師長へ

軽食道工コー施行に際し、看護師さんの配置調整やマニュアル作成により、鎮静管理を丁寧にサポートしていただいています。また、検査をスタッフにも情報を共有し、当日の検査が滞りなく実施できるようご協力いただきました。

【患者さんに与えた良い影響】

的確なサポートにより医師は検査をスムーズに進めることができ、また患者さんへの細やかな声掛けで不安が軽減され、安心して検査を受けることができました。こうした協力により、検査全体が円滑に進み、患者さんに安全で質の高い医療を提供できました。

藤井看護師へ

電話での対応が明確で、とても分かりやすかったです。

【患者さんに与えた良い影響】

スムーズな連携により、業務が円滑に進み、結果的に患者さんへの対応も迅速かつ適切に行われました。



総合サポートセンターから事務部へのありがとう！

総合サポートセンター 事務へ

患者さんの座る場所に空きがなかった時、折り畳みの椅子を準備してくださいました。

【患者さんに与えた良い影響】

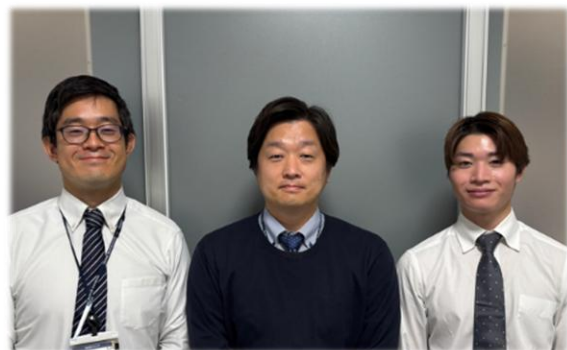
患者さんが座ってゆっくり待つことができました。

クリティカルケア課の皆様へ

急遽、退院が決まった患者さんに迅速に搬送のルートを確認してくれました。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんが安全に退院することができました。

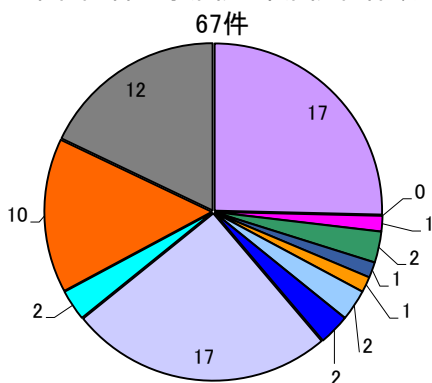


日頃よりチーム医療にご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

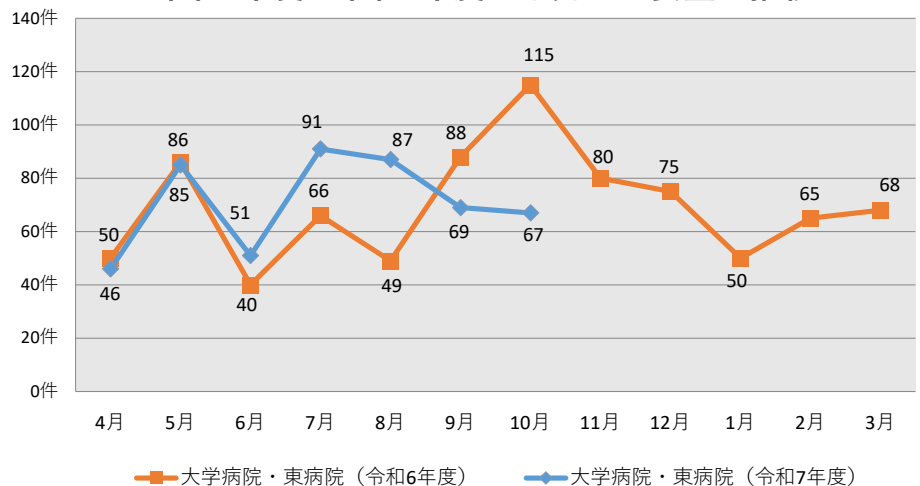
ご意見・ご要望	回答	回答 部署
入院棟 10 階の壁時計が実際の時間と異なるため、改善して欲しい。	この度は貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。院内では主に電波時計を使用しておりますが、電波の届きにくい場所でしたので時刻にずれが生じていました。ご指摘の入院棟 10 階病棟については、11 月上旬頃に非電波式時計に交換させていただきます。今後も快適にお過ごしいただけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。	管理課
大変お世話になりました。コロナの時も皆様本当に大変だったと思いますが、こうして人の命を助け続けている皆様の行いの尊さに頭が下がります。ご飯もおいしかったです。	入院中のお食事についてお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。このようなご意見を頂けたことは、職員の励みになります。今後も 1 人でも多くの患者さんがおいしいと思える食事を提供できるように努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。	栄養科

令和7年12月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和医科大学病院・東病院総件数



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 面会時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境 (清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境 (駐車場)
- 感謝
- その他

令和6年度・令和7年度ご意見・ご要望の推移



異 動

附属施設から（令和 7 年 12 月 1 日付）●耳鼻咽喉科 方波見 里奈

附属施設へ（令和 7 年 12 月 1 日付）●臨床病理診断科 北條 真鈴 ●整形外科 新妻 学

学外施設から

（令和 7 年 12 月 1 日付）●産婦人科 清水 文香

（令和 7 年 12 月 23 日付）●消化器・一般外科 柴田 英貴

退 職

（令和 7 年 11 月 30 日付）●放射線科 楠原 英生



編集後記

糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 やまぎし しょういち 山岸 昌一

今年も気ぜわしい季節がやってまいりました。グッと冷え込み、防寒対策が欠かせない毎日です。今年は、皆様方にとってどんな年だったのでしょうか。来る年に向けて新たな思いを巡らされていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。私は、この病院だよりを通じて来年も有益で分かりやすい医療情報を提供していきたいと考えております。皆様方にとって来る年が素晴らしい年になることを祈念しつつ、今年最後の編集後記に代えさせていただきたいと思います。



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発 行 昭和医科大学病院、東病院

発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）

昭和医科大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について